

クロマチン制御蛋白質の尿路上皮内癌の病理診断マーカーとしての有用性に関する研究

1. 研究の対象

2005年1月～2025年12月に当院で尿路（膀胱、腎臓、尿管）のTUR（生検）または手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

尿路上皮内癌の病理診断は反応性の病変と形態学的に区別が難しいことがあり、診断に有用な新たな免疫組織学的マーカーの開発が求められています。本研究ではクロマチン制御蛋白質に着目し、尿路上皮内癌の病理診断マーカーとしての有用性について検討します。

研究実施期間：2026年4月7日から3年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では過去の尿路TUR（生検）および手術の剰余組織検体を用いて免疫染色を行い、CISの診断マーカーとしての有用性について検討します。

4. 試料・情報の公開

本研究の結果は病理学会および学術雑誌で発表する予定です。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 埼玉県立がんセンター病理診断科 飯塚利彦
〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780
TEL 048-722-1111